

一 般 質 問

市政のそこが聞きたい!!

〔質問順位による〕

第2回（6月）定例会の一般質問は、13日、14日の2日間に8人の議員から市政全般について質問がありました。

主な内容は、次のとおりです。



松浦 英夫 議員

中山間地域対策について

問 憲法25条に謳われている「健康で文化的な最低限度の生活」とは。

答 憲法には明確な基準はなく、表現は極めて抽象的である。総体的な概念であり、その時代背景との相関関係において判断されるものと理解している。

問 高知県が行った集落実態調査についての中間報告の内容と受け止め方について問う。

答 人口減少や高齢化のため、地域としての機能が低下する等、集落を取巻く環境が厳しい現状が明らかになった。

問 今回の中間報告を受けて、今後の取組み方を問う。

答 具体的に決めていないが、集落の活性化に対する住民の思いを参考に高知県と連携し、課題解決に向け取組んでいく。

問 高知県唯一の有人の離島である沖の島は、宿毛市の産業や観光行政を考えるとなくてはならない重要な位置づけである。

答 離島という厳しい生活環境であるが、どこで生活をしていても、皆同じく生活ができるように早急に整備をしなければならぬ。

問 課題の一つとして挙げられるのが「し尿処理問題」であるが今後の取組を問う。

答 収集回数を増やす等希望者全員の収集が可能となるよう取組んでいく。

問 現在の方法である延長ホースの設置による収集業務について、益々高齢者が増えてこのままでは、将来的に事業を継続していくことが難しく、皆さんは大変不安に思っている。

答 今日この状況について、実態を把握されているのかどうか問う。

答 島民が苦勞している状況は把握している。

問 今後は、延長ホースの設置作業にご協力いただける方の掘り起こしを実施していく。

問 「住民負担に対する補助制度や収集業者に対する損失補填策に関しても、他市町村の取組を参考にしながらしっかりと宿毛市としても検討してまいりたい。」と市長の誠意ある答弁があったが、課題の解決に向けてどのような取組をしてきたのか問う。

答 他市町村の補助制度や事業内容に関し、参考事例も含めて情報収集をしている。



文化財保護行政について

問 教育長は、現地の調査活動に参加されてどのような感想をもったのか。

答 砲台等の軍施設の建設には、大変な苦勞があったのだろうと思った。

問 宿毛市教育委員会として今後「鵜来島にある戦争遺跡」についてどのような取組が必要であると考えられるのか。教育長としての所見を問う。

答 県下30か所の戦争遺跡について高知県も跡地の保存活用について検討をしている。沖の島の基地跡も含まれており、今後、全県下的な保存の在り方の議論に加わりたい。